

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【対面】東南アジアの文化と社会		
担当者(Instructors)	宮本 佳範	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

東南アジア地域は、古来より中国やインド、イスラム勢力などの影響を受けつつ独自の歴史を歩んできました。近代は多くの国が植民地支配を経験し、戦後の独立、独立後の状況も各国固有の社会状況のなかで今日まで発展してきました。そんな東南アジア地域の歴史や文化、そして現代の社会状況、日本との違いやつながりを理解することが本講義の目的です。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	グループワーク（プレゼンテーションを含む）中心で行います。グループワークでは、グループ毎にテーマを決め、調べ、発表する流れで行います。発表準備はパソコン室で、発表はプロジェクターを用いて行う予定です。受講者数により、下記の毎回の内容は若干変更する場合があります。詳しくは初回のガイダンス時に説明するので“必ず”出席すること。なお、コロナ対策の関係で、パソコン室の使用人数が制限されますので、ノートパソコンを持っている人は、なるべく持参するようお願いします。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	講義の全体の流れ、主旨、やり方などを説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	準備	グループ決めなど、今後の作業のための準備をする。	<input type="checkbox"/>
第3回	国別探究：概要・地理・歴史・観光(1)：資料収集	グループで担当する国を決め、概要・地理・歴史・観光資源などについて調べる。	<input type="checkbox"/>
第4回	国別探究：概要・地理・歴史・観光(2)：発表準備	グループで担当する国を決め、概要・地理・歴史・観光資源などについて調べる。	<input type="checkbox"/>
第5回	発表：前半グループ	グループで調べた内容について発表する。	<input type="checkbox"/>
第6回	発表：後半グループ	グループで調べた内容について発表する。	<input type="checkbox"/>
第7回	国別探究：産業・政治、経済、生活文化(1)：資料収集	先に決めた国について、現代の産業・政治、経済、生活文化などについて調べる。	<input type="checkbox"/>
第8回	国別探究：産業・政治、経済、生活文化(2)：発表準備	先に決めた国について、現代の産業・政治、経済、生活文化などについて調べる。	<input type="checkbox"/>
第9回	発表：前半グループ	グループで調べた内容について発表する。	<input type="checkbox"/>
第10回	発表：後半グループ	グループで調べた内容について発表する。	<input type="checkbox"/>
第11回	テーマ別比較研究(1)：資料収集	特定のテーマに関する各国の比較研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	テーマ別比較研究(2)：発表準備	特定のテーマに関する各国の比較研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	発表：前半グループ	グループで調べた内容について発表する。	<input type="checkbox"/>
第14回	発表：後半グループ	グループで調べた内容について発表する。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	全体を総括する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

発表準備などを各回あたり4時間程度行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

発表はその都度講評する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019国際ビジネスDP3	東南アジア地域の文化や社会について知識を深め、活用できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 発表(40%)				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		